

園庭研究家の石田香織氏から自園の園庭環境に新たな可能性を学んだ 1 回目、そして石田氏とともに豊橋の牛川育英幼稚園での園内研修を行った 2 回目。そして 3 回目の今回は実際に自然を存分に活かした保育をされているもものき保育園の園内研修を行いました。

### 園内見学



大人の重量だとこんなに高くまで上がるターザンロープ。子どもたちは自分の力量と照らし合わせてどこまで上がれるか試すそうです。大人の私たちでもこんなアクティビティはなかなか体験できませんね。



手前は焚き火をした跡です。子ども自身に危機管理を行える経験があればこそ、火を囲み温まることができます。子どもたちが火を囲みながらどんな話をしているのか気になりますね。



竹の滑り台。知識と経験のある大人の方が滑るのにためらいますが、滑ってみると意外に安定していました。下見をした際に学童の子に「こんなのが怖いのか？」と笑われてしまいました。



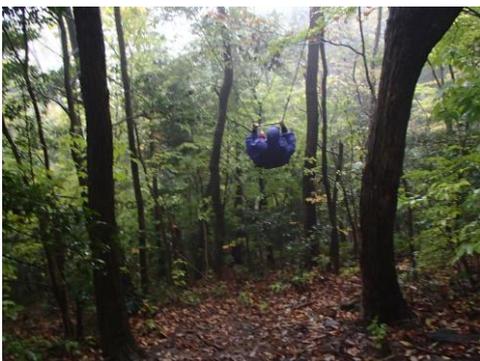
「砂場」といっても4～5mほど巨大な山。穴は年長さんが掘ったそうで、大人が屈んでもすっぽりと納まるほどの大穴です。こんな大穴を掘った経験は大人の私たちでもなかなか無いですよ。



とにかく急傾斜な坂。続々と研修者が滑る、転ぶようなこんな場所でも園庭の範囲内です。もちろんどこまで行っていいかは保育者と約束します。



上の斜面を登った中腹に作られていた秘密基地。子どもたちが作ったものです。こんなにダイナミックな秘密基地で過ごした思い出は一生ものですね！



秘密基地の近くに作られたブランコ。写真では見えませんが草木の隙間から見えるのは先程登ってきた急斜面。どこまでも飛んでいきそうな感覚でした。学童の子たちはこれに5人乗りしていました！



ただの丸太渡りですが2mほどの落差があります。大人でも諦めて落ちるには少し覚悟がいる高さです。こういった恐怖を感じて、自分の力量を分かることも子どもの成長には大切なことですね。

## グループ討議 テーマ「こんな園庭がいいな」



グループごとに理想の園庭を出し合い、まとめた物を発表しました。「自園には大きな木があるからツリーハウスを作りたい」「水遊びの場を増やしてあげたい」「草木を増やして身近な生き物と触れ合う環境を増やしたい」と様々な意見が出てきました。

参加された皆さんの「子どもたちがもっともっと心豊かに育ってほしい」という同心一致の思いが感じられた研修でした。

もものき子ども園のHPなどから、自然の中で暮らす子どもたちの様子や園活動が見られます。

HP <http://www.momonoki-hoikuen.com/>

Facebook <https://ja-jp.facebook.com/momonokihoikuen/>

### 平成 29 度 環境教育特別委員会 活動内容

- A1 園庭研究家 石田香織氏講義 「環境・自然教育という視点で園庭を構成するには？」
- A2 牛川育英幼稚園 「幼稚園にて園庭環境をポジティブに遊び感じ学ぶ」
- A3 もものき保育園 「保育園にて園庭環境をポジティブに遊び感じ学ぶ」
- B1 環境教育委員長 牧原東吾講義 「幼児期の環境（自然）教育総論」
- B2 名古屋大学理学部教授 高野雅夫氏「暮らしとエネルギー 里山の生活から見えること」
- B3 NPO法人トルシーダ 伊東浄江氏「共に生きるということ 外国人の子ども支援の現場から」

給食の放射線調査モニター実施